令和４年度第１回栄地区協議会　会議録（概要）

●会議を開催した日時及び場所

日　時　　令和４年７月 28 日（木）午後１時 50 分～２時 50 分

場　所　　三条市役所　栄庁舎　３階　教育センター大会議室

●委員（◎会長、〇副会長）

出席委員（10 人）

中村　文雄　　長野　功　　〇坂井　正志　　◎殖栗　孝雄

渡邉　　操　　田中　勉　　島影　正幸　　中村　貴子

鈴木　正道　　関崎　敏夫

欠席委員（４人）

佐藤　洋一　　大原　知康　　髙山　明　　宮島　敏明

●出席者

総務部長　　笹川　浩志

政策推進課　課長　米持　克広

栄サービスセンター長　大橋　信彦

政策推進課　政策推進係　係長　中村　拓也

栄サービスセンター　総務グループ長兼総合窓口グループ長　阿部　修造

政策推進課　政策推進係　主任　吉田　玲子　　主任　田村　諭　　主事　波塚　由香里

●傍聴者

なし

●報道機関

三條新聞社

●内　容

１　開　会（午後１時 50 分開会）

２　黙祷

３　出席者紹介

４　議　事

(1)　副会長の選出について

副会長に坂井正志委員を選出

(2)　行政評価に基づく令和３年度事後評価について

（米持政策推進課長　説明）

資料№.１－１～３により行政評価に基づく令和３年度事後評価について説明

～質　疑～

（鈴木委員）

行政評価では「一定の成果が上がった事業」と「成果が上がらず更に深掘りが必要な評価の低い事業」があると思うが、これらの積み残された課題等はどうなるのか。

（米持政策推進課長）

委員指摘のとおり、上手くいったものと上手くいかなかったものがあるが、例えば、「ものづくり産業の価格決定力確保」や「産業として成り立つ農業の確立」などはＣ評価となり成果が上がっていない。現在、策定作業を進めている次期総合計画の中で、これらの取組をどのように改善させていくのかという内容を具体的に反映させていきたい。

（中村（文）委員）

先ほどの説明の中で「待機児童」という言葉があったが、三条市に待機児童はいるのか。

（米持政策推進課長）

本市で、年度当初から入所を待っている待機児童というものは、ほぼゼロに近いと聞いている。その一方で年度途中の入所について、例えば、母親が仕事を始めた等の環境の変化を理由とした入所希望については、それに対応できる保育士の数が足りていないことなどからそのような事象があると聞いている。ただこれも年度当初の段階で、これを見込んだ保育士の数を確保しておくことで解消できることから件数はそれほど多くないとも聞いている。

（鈴木委員）

令和３年度行政評価事後評価シート19ページにある空き家等の有効活用については全国的な課題だと感じている。これは要望になるが、放置された空き家の老朽化対策や維持管理対策等について、是非、次期総合計画の中に具体的な課題解決策を反映させてほしい。

（米持政策推進課長）

これまで空き家に関する本市の取組は、どちらかというと有効活用という視点に立って、移住してもらい新しい方に住んでいただくという施策を進めてきたが、これだけでは対応しきれない状況となっている。このため今年度から空き家については、除却処分への支援であったり、また新たな取組として、空き家対策の専門のスキルを持った人材を招聘するなどといった取組も行っているので、これらを含めて次期総合計画へ反映させていきたい。

(3)　三条市総合計画の策定について

（米持政策推進課長　説明）

資料No.２により三条市総合計画の策定について説明

～質　疑～

（鈴木委員）

資料№.２の基本方針等についての中で、１の（４）には、「総合計画の策定等について検討し、意見を述べる機関として総合計画策定協議会を設置し、基本構想、基本計画の原案を諮問し、答申を得る。」と記載されているがこの地区協議会と総合計画策定協議会との関係性はどのようになるのか。

（米持政策推進課長）

組織としては、別の組織になる。なぜ各地区協議会とは別に、このような計画策定協議会を設けたかというと、様々な場において合併から数十年が経過した中で、それぞれの地域ごとに、総合計画の策定を検討すべきではないといった意見を多くいただいた。その一方で、それぞれの地域のことは、それぞれの地域が一番よく分かっているという実情もあり、その地域の声を反映させていくため、各地区協議会の代表からも参画いただき、この策定協議会で審議をしていただこうと考えている。

（鈴木委員）

それではこの地区協議会に対して、次期総合計画の策定等に関する市長からの諮問は無いということか。

（米持政策推進課長）

そのとおりである。

(4) その他

なし

５　閉会（午後２時 50 分閉会）